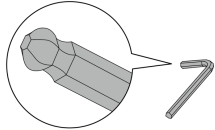


《フタ開閉の強さ調整方法》

フタ開閉の強さはヒンジ部分で調整する事ができます。
※製品の出荷時にフタ開閉の強さを調整しております。

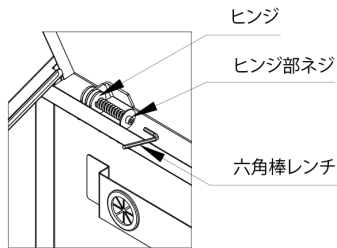
●手順①ご用意いただく物の確認

- 六角棒レンチの3mm
※先端の丸いボールポイントですと、より作業し易くなります。



●手順②フタ開閉の強さ調整

- フタのヒンジ部のネジを六角棒レンチで回します。
- フタの開閉を強くしたい場合はネジを締めこみます。(時計回りに回してください)
弱くしたい場合はネジをゆるめます。(反時計回りに回してください)
※ネジを締めこむ場合は一気に締めこまず、左右の強さを確認しながら調整してください。



《鍵穴ありの場合》

- 南京錠・ダイヤル錠を手配する場合は、鍵穴径(8mm)にあった、取り付け可能なものをご準備ください。

製造元：株式会社ナスタ

本 社 〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビルディング 2F Tel：03-6779-8775 Fax：03-6779-8776
リテール営業本部 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 12-16 (8F) Tel：03-6778-2906 Fax：03-6778-2909
東京支店 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 12-16 (3F) Tel：03-3660-1815 Fax：03-6778-2095
大阪支店 Tel：06-6858-5671 仙台支店 Tel：022-207-4700 横浜支店 Tel：045-474-0631 広島支店 Tel：082-249-4651
札幌支店 Tel：011-741-2250 北関東支店 Tel：048-553-1751 名古屋支店 Tel：052-242-2272 福岡支店 Tel：092-472-1088
Web：www.nasta.co.jp Mail：info@nasta.co.jp DB001-001-00_2020.10

家庭ごみ一時保管箱 D's stocker(ディーズストッカー)
品番：DB001L / DB001S
施工説明書

D's stocker は戸建て住宅の建物周囲に設置する屋外用ごみ箱です。
市販のコンクリートベースを使用した簡易施工が可能です。
また、コンクリート製の基礎に市販のオールアンカーで施工することも可能です。

施工の前に、この「施工説明書」をよくお読みの上、正しく施工してください。



お願い

- 施工前に「外観の損傷がないこと」、「動作に問題がないこと」を確認してください。
- 施工中に製品が損傷しないように、十分な養生を行ってください。
- 施工が原因で発生した損傷や故障については、当社では責任を負いかねます。

安全上のご注意 注意事項を守って施工してください。

- 説明を無視した使用方法によって生じる〈危険や損害の程度〉を次の表示で区分し説明しています。

	この表示の欄は「死亡や重大な事故の発生が想定される」内容です。
	この表示の欄は「けがや物的損害の発生が想定される」内容です。

- お守りいただく〈内容の種類〉を次の絵表示で区分し説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。
	このような絵表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。

《注意事項》

注意・禁止

- 分解・改造は絶対にしないでください。落下などによる、けがや破損の原因になります。
- 通行の妨げとなる場所に設置しないでください。けがの発生や事故の恐れがあります。
- 本体に重い物を乗せたり、寄りかかったりしないでください。
- 高圧洗浄機の使用や、強い水圧でのホースによる直接の水洗いはしないでください。故障の原因となります。

注意・強制

- 腐食の原因になりますので、基礎用コンクリート及びモルタルに急結剤、海砂を使用しないでください。
- 製品の意匠面にコンクリート、モルタルが付着した場合は速やかに清掃してください。
- 重量物のため、取付時は必要に応じて2人以上で行ってください。
- 製品の施工時、および施工後に外構工事を行う場合は必ず、十分な養生を行ってください。
- 製品に化学薬品(酸・シンナー等)をかけないでください。塗装剥がれやサビ発生等の原因になります。
- 製品は安全な場所に設置してください。
- 屋根の雪等が落下する恐れのある場所、または強風がフタを吹き上げる恐れのある場所へは設置しないでください。故障や事故の原因になります。
- 屋根からまとまった雨水が直接製品にかかる恐れのある場所へは設置しないでください。
- 本書に記載している施工図にもとづく設置工事を必ず行ってください。
- 設置工事がされていない場合、強風等により転倒し、破損する恐れがあります。

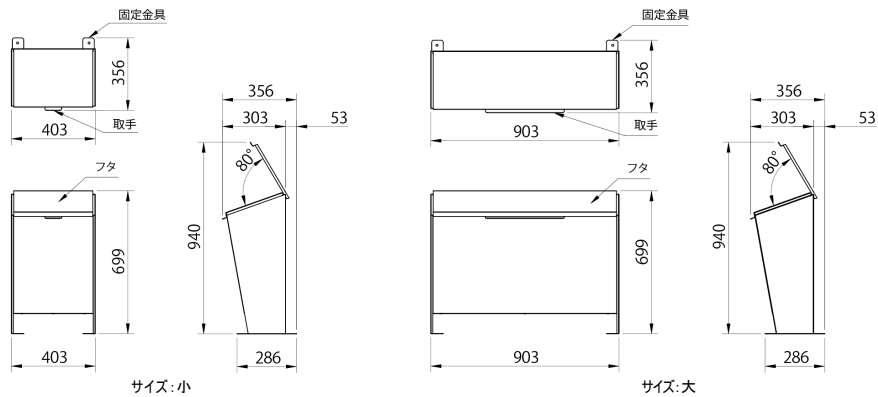
《梱包内容》

施工前に各パーツが入っていることをご確認ください。

本体 1台 	ゴミ袋固定金具 2個 	底板 1枚 	取扱説明書 1枚 	施工説明書 1枚
--------------	-------------------	--------------	-----------------	-----------------

《製品収まり図・各部の名称》

施工前に各部の寸法をご確認ください。



《施工方法》

以下の手順にしたがって施工してください。

＜施工方法① コンクリートベースを使用して設置する場合＞

- 設置できる場所: 砂利敷きなど地面がアスファルトやコンクリートで覆われていない場所
※建物や壁面から700mm程度の空間が確保できる場所（製品が350mm + 通路として350mm程度）

□準備する物（1台につき）

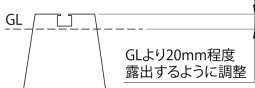
- ・市販のコンクリートベース：2個（重量が12kg以上となること）
※参考：東洋ベース株式会社 タイガーベース L350-100（重量：7kg / 1個）
- ・SUS製ボルト M10-25：4本、SUS製ナット M10：4個、SUS製ワッシャー M10：4枚

□施工前の確認

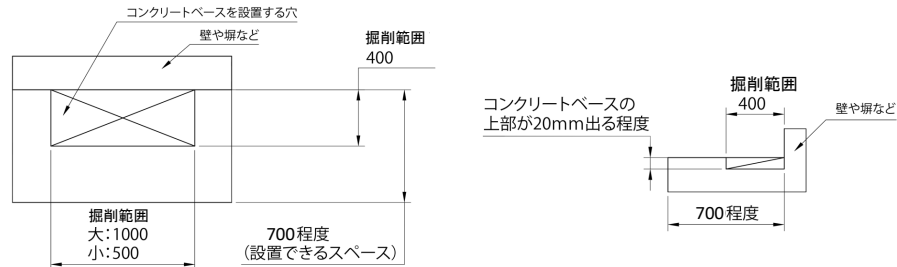
- ・建物基礎フーチング、屋外給排水経路、室外機など屋外設備機器が予定されていないかを確認してください。

●手順①設置場所の確認

- ・建物や壁面から700mm程度の空間が確保できる場所の地面を掘り起こし、底を突き固めます。
※コンクリートベースの上部が20mm程度露出するように（レールが隠れないように）調整してください。

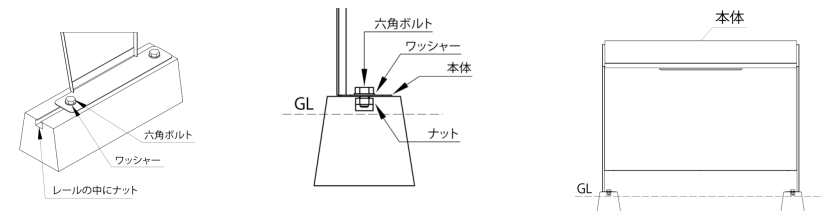


- ・コンクリートベースをD's stockerの左右となる指定の位置に設置し、水平を確認します。
- ・コンクリートベースが動かない様に周囲に土や砂利を埋め戻します。



●手順②コンクリートベースへの固定

- ・ナットをコンクリートベースのレールに2個ずつ差し入れます。
※コンクリートベースの一般施工としてはボルトをレールに差し入れますが、本製品はナットを差し入れます。
- ・コンクリートベースの上にD's stockerを置き、ワッシャーの上からボルトを締めしっかり固定します。



●手順③設置後の確認

- ・フタがスムーズに開閉できるか必ず確認してください。
※フタの開閉が重すぎる、または軽すぎる場合は調整をしてください。
- ・製品に歪みやキズなどが無ければ設置完了です。
※ご使用までに時間がある場合はキズなどが付かない様に適切な養生を行なってください。

＜施工方法② 既存のコンクリート舗装に設置する場合＞

- 設置できる場所: しっかりしたコンクリート製の基礎がある場所（コンクリートの目安厚みは100mm）
※建物や壁面から800mm程度の空間が確保できる場所（製品が350mm + 通路として350mm程度）

□準備する物（1台につき）

- ・市販のSUS製オールアンカーM10：4本
※埋め込み長さ35mm以上

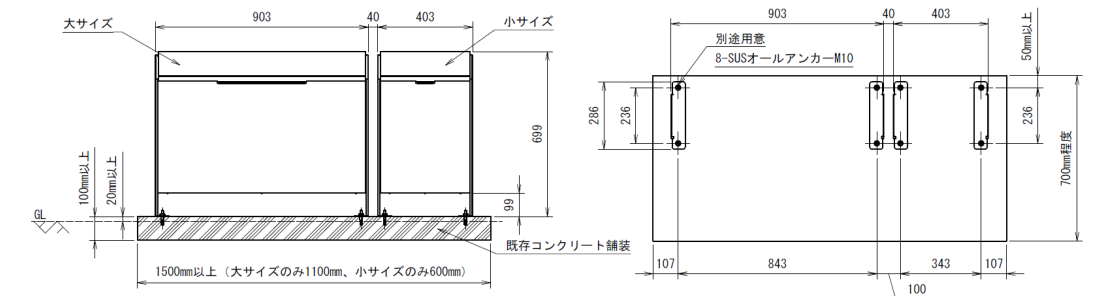
●手順①設置場所の確認

- ・建物や壁面から700mm程度の空間が確保できる場所の指定の位置にオールアンカーの下穴を開けます。
※下穴は使用するオールアンカーの指示に従ってください。

- ・コンクリート面に水勾配がある場合は水平となるようにスペーサーなどで調整します。
※スペーサーなどは付属しておりませんので別途用意してください。（樹脂製やステンレス製などサビにくい物に限る）

●手順②オールアンカーでの固定

- ・先端のピンをハンマーでたたく際に製品にキズが付かないように注意してください。
その後、ナットを締めて固定します。



●手順③設置後の確認

- ・フタがスムーズに開閉できるか必ず確認してください。
※フタの開閉が重すぎる、または軽すぎる場合は調整をしてください。
- ・製品に歪みやキズなどが無ければ設置完了です。
※ご使用までに時間がある場合はキズなどが付かない様に適切な養生を行なってください。

＜付属品の設置＞

●手順①底板の設置

- ・底板の平面を上にして底に置きます。
※周りにぶつけてキズを付けないよう注意してください。

●手順②ごみ袋固定金具の設置

- ・ごみ袋固定金具にはマグネットが付いていますので正面側と背面側に1個ずつ取り付けます。

